

大分医療センター  
広報誌

vol. **14**  
2021年

# あいしん 大分

定年退職のご挨拶……………	2
第74回 国立病院総合医学会 ベスト口演賞いただきました……………	5
連携医療機関のご紹介 白杵病院……………	6
診療科紹介 病理診断科……………	7
大分医療センターの臨床研修……………	8
外来診察医担当表……………	10



春の訪れ・杏子満開（撮影：奈須伸吉）

## 退任のご挨拶



名誉院長 穴井 秀明

令和3年3月31日を以て、大分医療センターを定年退職いたしました。平成7年8月、39歳の時に外科医長として、国立大分病院（平成16年に独法化により大分医療センターに改名）に赴任してまいりました。49歳で大分医療センターの副院長になり、61歳で院長に就任し、延べ25年余り勤務させていただきました。特に院長になってからは色々な改革に着手し、職員の皆様には大変なご苦勞、ご支援、ご協力をいただきました。誠にありがとうございました。お陰様でこの3月末で65歳の定年退職を無事迎えることができました。これもひとえに皆様方のご厚情のお陰と、心より感謝申し上げます。

平成7年の赴任時は前外科医長の不祥事の後で、外科はどん底の状態でした。当時、私は福岡の九州医療センターの外科に勤めており、対岸の火事的に、同僚、先輩たちと後任は誰がいくのかなあとのんきに見ていました。そうしているうちに、突然、大学医局の教授から呼び出しを受け、大分出身の私に白羽の矢が立ちました。当時の院長の橋本修身先生と事務部長のお二人で、わざわざ九州医療センターまで面談に来ていただいたことが昨日の事のように思い出されます。

定年退職の最後の年は折しも新型コロナウイルス感染症流行期で世界的パンデミックにまでなりました。当院も不名誉なことに令和2年3月と12月に2度もクラスターが発生しました。職員の皆様には、大変なご苦勞をおかけしましたが、職員一丸となって、何度も何度も感染対策に取り組み、立ち直ることができました。当院はもともと感染症指定医療機関ではありませんでしたが、成り行き上、新型コロナの患者を受け入れざるを得なくなりました。その関係で新型コロナの患者専用のために一個病棟をまるまる確保し、空床

補填がある重点医療機関に指定されました。説明するには複雑なので省略しますが、この時期一般入院患者が激減したことで、そこをうまく利用して入院基本料の上位獲得ができました。2度目のクラスター発生は2つの病棟にまたがっていました。そこでこの2つの病棟が空床補填できる重点医療機関にならないかと事務部の提案で、県と折衝し、見事勝ち取ることができました。この入院基本料上位獲得と空床補填のある重点医療機関の追加指定の獲得は、優秀な事務部の積極的な取り組みのおかげです。現場で実際に患者を診る臨床部門と裏方の事務部門、つまり多職種、病院全体の勝利です。当初、大幅な赤字を覚悟していましたが、黒字になる可能性もできました。まさにピンチをチャンスに変えた出来事でした。しかし、このコロナ禍、2度もクラスター発生を経験した病院責任者としては、言葉通り、心身共に疲れ果ててしまいました。定年退職前の最後の年は有終の美を飾りたいと思っていましたが、それとは裏腹の憂鬱の日々でした。

私は、赴任してきた時と退任する時、つまり入り口と出口で、人生において、とても大きな貴重な経験をしました。退任後は社会保険診療報酬支払基金大分支部で医療顧問として働かせていただくことになりました。今度は直接患者を診ることはありませんが、ちょっと距離をおいて医療界をみていこうと思っています。さて、哲学者ニーチェの名言に「安定志向が人と組織を腐らせる」ということばがあります。「変化」は「進化」ともなります。

最後になりましたが、奈須新院長を筆頭に新しい体制で、地域医療の基幹病院として大分医療センターのますますのご発展と、皆様のご健康をお祈りいたします。

# 4年間ありがとうございました



薬剤部長 吉野 裕 統

昭和60年に国立病院へ入職し、今年で無事に定年退職を迎えることができました。皆さんのおかげです。最後の4年間は、大分医療センターにお世話になりました。

当院に赴任して、1年目は「薬剤師への教育カリキュラムの実践」を目標に掲げました。2年目は、地域の薬剤師の皆さんと少しでも交流できるように「勉強会を病院内で開催」、3年目は大分にどっぷり漬かりたいと思い、「大分のことを改めて勉強」、4年目は「薬剤師の能力開発・人材育成プログラム“NHO PAD”の大分医療センター版プログラム作成」を目標に掲げました。

このうち、人材育成に関するテーマを国立病院総合医学会に演題を出したところ、2018年と2020年の2回、ベスト口演賞をいただきました。いつの時代もどんな組織でも人材育成は最大の目標の一つに間違いありません。大いに空回りしながらも少しだけ、かかわることができたかと思っています。

この一年は残念なことに外出を控える日々でした

が、大分は知れば知るほど、自慢したくなることばかりです。福沢諭吉の「学問のスヌメ」読んでみました。日本を代表する教育者の広瀬淡窓の咸宜園には何度も足を運びました。重光葵、この人がいなければ、今の日本はどうなっていたんでしょうか。大分は多くの偉人を輩出しています。また、休日にはいろいろと足を延ばしました。県内の摩崖仏はほとんど行きました。ヤングセンター、別府タワー、滝廉太郎、祖母山系、由布岳、岡城、杵築武家屋敷、青の洞門…。

大分医療センターでは、院長のご意向をいただいたこともあり、貴重な会議やラウンドに参加させていただき、改めて様々なことを学んだ4年間でした。病院の細部まで目を配る幹部や職員の方々のいろいろな場面での対応方法や資料作成のやり方など、これまでで一番充実した業務をさせていただいたと感謝しています。

皆様、本当にありがとうございました。

いつまでも、誰よりも、大分医療センターの発展を願っている一人です。





## 皆様との出会いに感謝

1 病棟看護師 岡村 征代  
2 病棟看護師 首藤 利香  
手術室看護師 小笹 美幸

早いものです。

昭和に入職してから令和を迎え、私達も定年を無事に迎えることができました。これも皆様のご支援や励ましのおかげだと心より感謝しております。

職場環境の変化、求められる医療や看護の移り変わりに悩みながら皆様と前を向いて働くことができました。チームワークの良かった職場で沢山の皆様との出会いもあり、辛かったことや苦しかったことも皆様と励まし合いながら楽しく仕事できたことに唯々、感

謝しかありません。

定年となりますが、再雇用して頂けることになりましたので、微力ではありますが、地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。これからもよろしくお願いたします。

最後になりましたが、大分医療センターのさらなる発展と皆様のご活躍とご健康をお祈りして挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

## 感謝をこめて

外来看護師（内視鏡センター） 飛鷹 勝代

この度3月末日をもちまして23年間勤務させて頂いた大分医療センターで定年を迎え、退職することとなりました。月日が経つのは本当に早いものですが、これまで皆様に支えられ助けられて無事今日まで勤め上げることができました。改めて厚く御礼申し上げます。

また当時は内視鏡検査の知識が浅かった私に、内視鏡看護師としての機会を与えてくださり、内視鏡技術の資格取得をさせて頂きましたことに心から感謝致します。何よりスタッフの皆さんも優秀で優しい方ばかりでしたので、どんなに多忙な日でも楽しく勤務する

ことができました。

今回、コロナ禍の状況により、大変お世話になった皆様にゆっくりとご挨拶もできないままとなってしまうお詫び申し上げます。

新任地におきましても大分医療センターでの誇りと経験を生かして、心を新たに努力する覚悟でおります。こちらの職場を離れることにとっても寂しさはありますが、大分医療センターの皆様の更なるご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。長い間本当にありがとうございました。

## 定年退職の挨拶（感謝）

3 階病棟看護師 下 郡 由美子

昭和57年に入職して結婚・子育てを終え、無事に定年を迎えることが出来ました。これもひとえに恵まれた環境下で、スタッフ・家族に支えられたお陰だと感謝しております。

思い起こせば入職当時は、1人夜勤・紙カルテで体温表に色鉛筆で記入していたことが懐かしく思い出されます。時代は移り変わり看護を取り巻く環境は変化を遂げています。

今回新型コロナウイルスの感染拡大に伴い今迄にな

いとても緊張した勤務を強いられ、家族に感染させないかと心の安らぐ日はありませんでした。しかし「明けぬ夜はない」という言葉のとおりワクチンが開発され接種できるようになり少し安心できる状況となりました。今後も「人生に無駄なことはひとつもない」という言葉を信じ、前向きに、心身ともに健康に過ごしていきたいと思っております。

本当に有難うございました。

第74回  
国立病院総合医学会

2020年10月17日▶11月14日

Web開催

# ベスト口演賞 いただきました



薬剤部長  
吉野 裕 統

2020年の国立病院総合医学会で発表したところ、ベスト口演賞がつかけてきました。発表のお題は「NHO PAD 教育者の評価指標の作成について」でございます。NHO PADとは、「国立病院機構薬剤師能力開発プログラム」のことで、簡単にいえば、薬剤師が生涯にわたって身につけなければならないことをリストにしたものです。しかしながらその活用と個人評価の方法は決まったものはありませんでした。そこで、NHO PADのSBO（行動目標）374項目の一つひとつについて知識、経験を中心とした設問を5個ずつ、合計1,870個とこれを自己分析できるエクセルツールを作成し、当院に勤務経験のある薬剤師に、「設問無し」と「設問有り」で自己評価を行ったところ、明らかに両者の自己評価点数に差ができました。従ってSBOの項目の“原文の一行の文”のみでは、客観的な評価ができないことがわかりました。これはつまり、大分医療センター版評価方法の提案ということでもあります。

このような事例を報告したところ、ベスト口演賞（副賞：QUOカード）をいただくこととなったのであります。

これからも活用してもらえることを切に願っております。

QUO  
カード  
1000

第74回 国立病院総合医学会  
The 74th Annual Meeting of Japanese Society of National Medical Services

74th  
JNSMS

先進的イノベーションと支える医療の融合  
求められる国立医療の構築 ~2020 ときを越えて~

会期 2020年10月17日(土)▶11月14日(土) Web開催

会長 中島 孝 (国立病院機構 新潟病院 院長)

副会長 大平 徹郎 (国立病院機構 西新潟中央病院 院長)  
下村 登規夫 (国立病院機構 さいがた医療センター 院長)  
新木 一弘 (国立病院機構 東京医療センター 院長)



# 連携医療機関のご紹介

## 臼杵病院

所在地	〒875-0023 臼杵市大字江無田1154番地1
TEL/FAX	0972-83-8100 / 0972-83-8105
診療科目	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、内視鏡内科、外科、消化器外科、大腸・肛門外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、人工透析内科、精神科、歯科
病床数	63床
診療時間	午前 月～土 9:00～12:30 午後 月～金 13:30～17:30
休診日	日曜日・祝日・年末年始



院長 松尾 則義



臼杵市に開院して4年目を迎えました。かかりつけの病院として、患者さんが住み慣れた環境で安心して暮らしていけるよう医療と介護の両面からサポートしています。特にリハビリは充実しており病院のリハビリの他に、介護サービスの通所リハビリ、訪問リハビリがあります。また、通院が困難な方については送迎サービスや訪問診療を行っています。受診だけでなく介護でもお困りのことがありましたら外来相談員へお気軽にご相談ください。



# 病理診断科

Department of  
Pathology

研究検査部長  
森内 昭



病理診断科は、常勤15年目の森内昭に加えて、2018年8月から週3日大学から西田先生が病理診断の応援に来られていましたが、2020年4月からは荒金先生が週3日病理診断に来られています。ここ1年程は、新型コロナ禍で、全国的に医療体制の変動が見られていますが、当院の病理検体数もコロナ禍の変動に伴って変動しています。病理診断科の業務は、大分医療センターの各診療科に関する病理診断を、通常通り正確・迅速に行っていますので、東医師会の諸先生方におかれましては、以前同様、これからも、大分医療センターとの診療連携を宜しくお願い致します。テレビ等の公的情報によりますと、健康診断、癌検診率の低下があるようですが、当院との診療連携を宜しくお願い致します。



# 大分医療センターの 臨床研修

臨床研修医  
石田 太郎

## 大分医療センターでの臨床研修について

医師としてのスタートをこの大分医療センターで切ることができ、非常に有意義で、あっという間の1年間だったと振り返っています。自分の力不足を幾度も実感しながら、先生方を始めスタッフの皆さんにとっても丁寧にご指導頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。一人一人の患者さんに勉強させて頂いた恩返しを将来還元できるよう、これからも自らの進路に向かって日々の診療に励んで参ります。

臨床研修医  
野口 恵美子

大分医療センターでは主に内科や外科を中心に研修させていただきました。

当院では直属の指導医だけでなく診療科を越えた全科の上級医にも相談することができ、またコメディカルスタッフとも距離が近く、診療・検査等を行うにあたりとても研修しやすい環境でした。普段の通常業務だけでなく、救急車対応や日当直を行う機会も多く、充実した初期研修医の1年間だったと感じています。この1年間で学び経験したことを今後活かせるよう、頑張っていきたいと思います。

臨床研修医  
伊藤 秀幸

初期研修をするにあたって、それぞれの研修医によって重視する点は十人十色だと思います。専門性や稀な疾患の診断を重要視する人もいれば、研修医への手取り足取りの指導や講義がきちんとしているところを選ぶ人など様々でしょう。当院は中規模ということもあり、実際に色々と手技をさせてもらえるといった所に手が行きとどいています。残念ながら大病院の様に稀な疾患ばかりに携わったりする機会は比べると少ないですが、その分 Common Disease と向きあい、目の前の患者さんの主訴へ向き合っていく姿勢は身につくと思います。もし初期研修に「実践力」を求めているなら大分医療センターを候補の一つに入れてみて下さい。





## 基本理念

「愛の心・手」で  
病める人々に寄りそう医療

## 基本方針

- 365日24時間断らない診療を目指します
- 大分県地域医療支援病院として、地域へ貢献します
- 大分県がん診療連携協力病院として、がん診療の充実に努めます
- 垣根を越えた連携によるチーム医療の充実に努めます
- 地域に根ざした積極的な広報活動と情報発信に努めます
- 安定した医療を提供するため、健全経営を志向します

## 大分医療センターのロゴマークについて

### 全体のコンセプト



Oita National Hospital (旧国立大分病院)の頭文字をロゴマークの形であらわしており、さらに「O」は病院の所在地である「大分市」及び「大在」の地名を示している。  
これを、海・空・太陽・緑の大地を立体的に示す色合いで表現したものである。

「緑と赤」…昇る朝日と緑豊かな大分の地を表す。  
「青」……大分医療センターのシンボルカラーを示し、私達医療従事者を表す。  
「黒」……地域と大分医療センターを結ぶ架け橋を表す。



表紙の写真や大分医療センターのなつかしい写真を募集します。  
ぜひ編集委員へご提供ください！

## 編集委員

委員長 岡田 さおり

委員 秋好 輝雪 石川 秀利 森崎 久美 梅木 祐 村上 英恵 竹田津 雄介

# 外来診察医担当表

【令和3年5月1日現在】

■ 受付時間 8:30~11:00  
■ 診察開始時間 8:30~

※予約の変更は月~金の各13:00~15:00にご連絡ください。  
(総合支援センター) ☎ 097-593-1112 fax 097-528-9651

【一般外来】 ※連携医療機関の方は8:30~17:15に総合支援センター(地域医療連携部門)へご連絡ください。

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
代謝・内分泌内科		桑畑 真亮 野村 卓也(新患)	嶋崎 貴信 野村 卓也 桑畑 真亮(新患)	嶋崎 貴信 桑畑 真亮 野村 卓也(新患)	嶋崎 貴信 野村 卓也 桑畑 真亮(新患)	嶋崎 貴信 桑畑 真亮 野村 卓也(新患)
腎臓内科				竹野 貴志(予約制)		
膠原病内科				安倍いとみ(予約制)	梅木 達仁 (予約制 第1・第3・第5週)	
消化器内科 (肝センター)		半澤 誠人 山下 勉 大塚雄一郎	本田俊一郎 室 豊吉 山下 勉	濱野 朋恵 山下 勉 大塚雄一郎(10:00~)	山下(~9:30)/平江 山下 勉(10:00~) 本田俊一郎	大塚雄一郎 濱野 朋恵 半澤 誠人 本田俊一郎
工 科		濱野 朋恵	濱野(~10:00)/平江	大塚(~10:00)/平江	半澤 誠人	本田俊一郎
循環器内科		有川 雅也 小野 慎平	有川 雅也 棚澤 晃大	吉村誠一郎 棚澤 晃大	吉村誠一郎 小野 慎平	有川 雅也 小野 慎平
呼吸器内科 (呼吸器センター)		大谷 哲史(新患) 宮崎幸太郎	大谷 哲史 平山 義明(新患)	山本 亮(新患) 宮崎幸太郎	大谷 哲史 宮崎幸太郎(新患)	大谷 哲史(新患) 山本 亮
腫瘍内科					西川 和男 ※受付時間8:30~11:00 診療時間8:30~	樋園 和仁(血液疾患) ※受付時間 新患13:00~14:00 再来13:00~15:00 診療時間13:00~
外科		矢田 一宏 橋本 直隆 一万田充洋(第2・第4月曜)	梶島 章	矢田 一宏 一万田 充洋	橋本 直隆 笠木 勇太	梶島 章 渋田 祥平
乳腺外科		武内 秀也※	※第1・第3月曜日 受付時間10:00~12:00 診療時間10:00~13:00のみ			
呼吸器外科		(手術日)	高祖 英典	高祖 英典	(手術日)	高祖 英典
整形外科		田畑 知法 膳所 大亮	田畑 知法 膳所 大亮	(手術日)	田畑 知法 膳所 大亮	金曜新患受付10時まで 田畑 知法 膳所 大亮
泌尿器科		午前	午前(10時まで)	午前	午前(10時まで)	午前
		河野 香織 住野 泰弘 奈須 伸吉	河野 香織(新患) 住野 泰弘(新患) 山中 直行(新患)	河野 香織 住野 泰弘 山中 直行	中島 駿佑(新患) 住野(河野)(新患) 山中 直行(新患)	河野 香織 山中 直行 奈須 伸吉
	新患担当は当科で振分けます。(紹介は「外来担当医」宛て)					
婦人科		午後(予約のみ) 各医師で分担				
		岡田さおり	河邊 史子	岡田さおり(午前) 西田 欣広(午後) ※受付時間14:00~16:30 診療時間14:00~17:00	岡田さおり	河邊 史子
放射線科		高橋 浩平	高木 勝弘(午前) 本村 有史(午後)	高橋 浩平	高木 勝弘(午前) 本村 有史(午後)	高橋 浩平
内視鏡 (胃腸センター)		本田俊一郎 平江 麻衣	大塚雄一郎 半澤 誠人 濱野 朋恵(10:00~)	本田俊一郎 半澤 誠人	大塚雄一郎 濱野 朋恵	山下 勉 平江 麻衣
内科系疾患で 専門診療科の判断が困難 場合の担当科		消化器内科	代謝・内分泌内科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科

【特殊外来のご案内】 ※完全予約制となっておりますので、下記にご連絡ください。

ひまん外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間 14:00~16:00	TEL 097-593-1111 (内線235)
ストーマ外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間 9:00~12:00	TEL 097-593-1111 (内線711)
緩和ケア外来	毎週 水曜日 (祝日を除く)	診察時間 11:00~12:00	TEL 097-593-1111 (内線739)
フットケア外来	第2・第4 火曜日 (祝日を除く)	診察時間 8:30~11:00	TEL 097-593-1111 (内線235)



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構 認定病院

独立行政法人  
国立病院機構

大分医療センター

<https://oita.hosp.go.jp>



〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号 TEL097-593-1111 FAX097-593-3106 / 総合支援センター直通 TEL097-593-1112 FAX097-528-9651